

まちのわだい

あなたの周りで起きた出来事や
楽しい話題、イベントなどの身近な
情報をお待ちしています。

▷問い合わせ 広報情報係
(☎223局3569)



梅雨の晴れ間に田植え体験

6月7日 町内3小学校稲作体験学習

小学5年生の児童を対象にした稲作体験学習が始まり、山鹿の田んぼで田植えが行われました。この学習は稲作の工夫や勤労の尊さ、食文化などを知り、命が育まれてきたことを学びます。

苗の準備や田んぼに水を張って整えてくれたのは、J A北九青年部芦屋支会の皆さんで、田植えの方法をていねいに教えていました。初めてはだして田んぼに入ったという児童がほとんどで、「ぬめぬめした感触が気持ち悪かったけど、だんだんおもしろくなってきた」や「ちょっとしか植えてないけど、腰が痛くなってきて、田植えはとてもしつかった」などと感想を話してくれました。秋には稲刈りの体験もあります。



大きめリボンで簡単に！「リボンレイ」講座

6月26日 ギャラリーあしやワークショップ

リボンレイとは、2色のリボンを編んで作るハワイ発祥のブレスレットです。5～10歳の子どもと保護者が参加。ワークショップは2回目と話す親子は「小さな子どもでも難しいところだけ手伝って後は自分で編めました。大人は簡単に編めるし楽しかったです」と話していました。



江戸時代から続く八朔の節句のわら馬づくり

6月27日 筑前芦屋だごびーなとわら馬の会

芦屋町の伝統行事「八朔の節句」は、旧暦の8月1日（現在の9月1日）に子どもの初節句を祝福をする行事です。健やかな成長を願って男の子にはわらで作ったわら馬を、女の子には米粉で作っただごびーな（団子の雛）を飾ります。わら馬の作り方を後世に伝えようと筑前芦屋だごびーなとわら馬の会の皆さんが講習会を開いて皆さんに伝授しています。今年初節句を迎える家族も親子4代で参加していました。



大雨、洪水に備えて避難所開設訓練を行いました

6月19日 芦屋町洪水避難訓練

近年の異常気象により、毎年全国のどこかで風水害が起り、想定外の災害が発生しています。また、コロナ禍により、避難所では感染症対策も講じる必要があります。当初は、住民の皆さんも参加した避難訓練を計画しましたが、緊急事態宣言発出により、町職員を対象に洪水を想定した避難所開設訓練を行いました。訓練では、芦屋中学校体育館と町民会館で実際にテントやベッドを設置し、高齢者など配慮を要する人が負担が少ないように配置するなど、その場での気づきなども話し合いながら作業し、万が一に備えた訓練となりました。



おうちで人権講演会「マンガで学ぶ外国人の人権」

7月1日～31日 人権講演会オンライン開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年の人権講演会はオンラインで開催中です。自分のスマホやパソコンで見たり、それをテレビにつなげて家族と見たりすることができます。講師の星野ルネさんはカメルーン出身で、4歳の時に来日し日本で育ちました。星野さんは日本人と外国人の物のとらえ方の違いを自分で描いた漫画と巧みな日本語でボケたり、突っ込んだりして楽しく教えてくれています。

